HOSP!通信 vol,3

令和4年
10月26日

三条看護・医療・歯科衛生専門学校 学校通信

令和4年
前期版

ホスピ!
HOSP!
For healthcare of sanjo area, be a professional!

三条看護･医療･
歯科衛生専門学校

日頃より当校の専門教育にご理解ご協力を賜り、ありがとうございます。学校前の県央基幹病院の建設が進んでいます。来年度に開院する予定ですが、日々大きくなっていく姿に学生の成長をなぞらえながら、その完成が待ち遠しい日々です。お陰様で令和４年度も無事に前期を終えることができました。この半年間の様子についてご報告いたします。

1、各学科行事

① 看護学科「継燈式」

６月 16 日(木)看護学科第２期生の継燈式が当校に隣接する三条市立大学「共和松井ホール」にて行われました。昨年は新型感染症の影響のため学生のみの式典でしたが、今年は保護者、県内医療機関から来賓を招き開催しました。第２期生 38 名は厳かな雰囲気の会場で、ナイチンゲール像から順番にろうそくの火を受け取り、７月から始まる病院実習を前に看護師を目指す自覚を新たにし、その決意を誓いました。追手学校長からの式辞、先輩の第１期生代表の滝澤めぐみさんの激励を受け、最後に第２期生代表の高橋 心豊さんが「クラスメイトと支え合いながら、看護師になるという目標に向かって共に成長し続けていきたい。」と力強く決意を述べ、式を終えました。病院実習で学びを深め、一回り成長した姿で戻って来てくれることを期待しています。

② 歯科衛生士学科「宣誓式」

９月 22 日(木)歯科衛生士学科 第２期生の宣誓式が当校に隣接する三条市立大学「共和松井ホール」にて行われました。第２期生 46 名は今年の９月末から約１年間、歯科医院にて本格的な実習を行います。学生たちは実習用の制服を着用し、緊張の面持ちで出席。改めて歯科衛生士を目指す自覚を新たにし、壇上にて一人ずつ決意表明を行いました。その後、五章からなる「歯科衛生士憲章」、五項目からなる「誓いの言葉」を全員で唱和。最後に学生代表の佐藤さくらさんの「多くの方々に支えられ、学んでいることに感謝して実習に臨みます。」という言葉を述べ、式を終えました。歯科実習は県内６市、30 の医療機関のご協力のもと行われています。

③ 医療事務学科「早期研修生認定式」

9 月 29 日(木)医療事務学科 第 2 期生の早期研修生認定式が当校校舎内で行われました。来年 3 月に卒業する第 2 期生ですが、医療機関から既に内定を受け、一定の要件を備えた学生たちは早期研修生として認定され、10 月から本格的に現場に立ちます。今年の第 2 期生は春からの積極的な就職活動が功を奏し、この認定式前までに約 9 割の学生が内定を得ています。17 名（当日 2 名の欠席）は実習服の胸に花飾りを付け、認定証書を受けると、全員で考えた「誓いの言葉」を唱和し、一人ずつ自らの成長を誓う宣言を力強く述べました。最後に代表の保澤 紬さんが指導いただいた先生方に感謝の言葉を述べて式を終えました。

2、夏フェス2022 in HOSP!

7 月 16 日、17 日の 2 日間、「夏フェス 2022 in HOSP!」を開催しました。従来は NSG グループ全ての専門学校が朱鷺メッセに集まり、合同の学園祭を開催していましたが、新型感染症禍のため、今回はそれぞれの学校での開催となりました。HOSP!では、メイン企画として校内を病院に見立てた医療体験イベントを実施。入口では医療事務学科の学生が来場された方々を出迎え、問診票風の受付用紙に記入後、イベント内容を紹介。看護学科のブースでは聴診器を使って心音を聞く体験や、血圧測定、手洗い指導を行いました。初日には滝沢三条市長もご家族連れで来場され、学生に血圧を測ってもらうなど、交流を深めることができました。歯科衛生士学科のブースでは、患者さんが治療時に座る歯科ユニットの紹介と歯の模型についた汚れを落とす体験などを行い、参加したこどもたちは大喜びで、歯科衛生士体験を楽しんでいました。更にトークライブとして、元看護学生で人気動画クリエーターのあぃり DX さんと男性看護師によるプロジェクトチーム「Nurse-Men」が登場。その他、学生たちが水ヨーヨーなど縁日を開催、駐車場にはキッチンカーが出店するなど、盛り沢山の内容で、期間中約 1,000 名の来場者を迎え盛況のうちに終えることができました。

3、臨地実習

医療系専門学校の当校は、外部の病院、施設、医院等での臨地実習は必須科目です。新型感染症の感染拡大期には学科により、実習の延期、校内実習への変更など工夫をしてきました。７月には歯科衛生士学科 第１期生の長きに渡った臨地実習を無事に終えることができました。これから国家試験に向けた学習に集中します。医療事務学科第２期生は６月、７月と最後の現場実習に臨みました。看護学科は第１期生、第２期生ともに新型感染症対策の中で時には学内実習に切り替える場面もありましたが、後期も実習が続きます。各学科とも実習先施設にご協力いただきながら、十分な感染症対策を施し、臨地実習を進めてきました。病院、施設、医院等の実習施設の各々の専門職者の皆様、患者様、そのご家族の皆様のご理解とご協力を得ながら、学生の成長のために貴重な学びの機会を与えていただいていることに感謝いたします。

4、世界アルツハイマーデー

９月は「世界アルツハイマー月間」です。アルツハイマー型認知症の理解を深めようという三条市の啓発活動に HOSP!看護学科学生を中心に関わりました。三条市の新しい図書館「まちやま」での啓発活動、三条市体育文化会館での資料展示への協力も行いました。９月 21 日の世界アルツハイマーデーには HOSP!校舎を啓発活動のオレンジカラーでホールを装飾。終日オレンジ色のホール照明を点灯し続けました。学生、教職員ともテーマカラーである「オレンジ色のアイテム」を身につけ、啓発活動を学校全体で行い、認知症への意識を高められたようです。活動に参加した看護学科の学生たちは「地域の皆さんと実際に関われて、自分自身の成長につながった。」「将来の看護師像を明確に考えることができた。」などの声が聞かれました。地域に貢献できる医療職者になるべく、様々なことに関心を持ってほしいと思います。

5、検定試験

医療事務学科第３期生は入学して半年の間に全員合格 100％を果たした検定試験があります。昨年の第２期生同様、医療秘書技能検定試験３級、医療事務管理士（医科）技能認定試験ですべて受験者全員合格という素晴らしい実績を残すことができました。また、第２期生も５月に行われた医師事務作業補助者検定試験で、やはり全員合格 100％を達成できました。医療事務現場で医師の事務作業のサポートの重要性が増している中、大事な資格を全員が取得できたことはこれから就職を迎えるうえで大きな自信につながったことでしょう。一人ひとりが「やれば、できる！」という自信を持てること、自分の努力できる力を信じることができることが、これからの成長に何よりも大切です。クラスの雰囲気もみんなで一緒に目標を達成しようという前向きな空気になっているようです。この勢いで、何事にも積極的に取り組んでいきましょう。「やれば、できる！」

6、就職活動

各学科とも就職年次の学生たちは春から就職活動に励んでいます。リクルートスーツで登校し、授業の中で就職への心構えやマナーを学び、放課後には自主的にキャリア支援室の先生から面接指導を受ける姿が見られました。医療事務学科は昨年 10 月末時点でクラスの約７割の内定実績でしたが、今年は９月末で９割の内定と順調です。看護学科も既に９割が内定を果たしました。歯科衛生士学科は就職内定のピークの時期がもう少し先になります。既に内定をもらっている学生も気を抜かずに国家試験の勉強に注力してほしいと思います。多くの学生は、この県央地域に就職します。医療事務学科は今春最初の卒業生が巣立ちましたが、看護学科、歯科衛生士学科は来春３月に第１期生が卒業を迎えます。地域の医療機関で当校の卒業生としての誇りを胸に、地域に貢献できる人材として成長してほしいと願っています。